

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月13日

上場会社名 株式会社TORICO 上場取引所 東
コード番号 7138 URL <https://www.torico-corp.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 安藤 拓郎
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長(氏名) 鯉沼 充 (TEL) 03-6261-4346
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	2,879	△0.8	△182	—	△187	—	△222	—
2024年3月期第3四半期	2,901	△21.9	△154	—	△158	—	△207	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △222百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 △205百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△147.95	—
2024年3月期第3四半期	△170.46	—

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期利益剰余金については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	1,867	994	53.1
2024年3月期	1,853	896	48.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 991百万円 2024年3月期 893百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,713	△4.7	△244	—	△252	—	△289	—	△192.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,558,100株	2024年3月期	1,258,100株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	38,828株	2024年3月期	33,804株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	1,504,555株	2024年3月期3Q	1,217,434株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。)

(四半期決算説明会資料の入手方法について)

四半期決算説明資料については、TDnet及び当社ウェブサイトのIR情報 (<https://www.torico-corp.com/ir/>) で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善し、個人消費やインバウンド需要の拡大などにより、経済活動の正常化が進み緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、欧米における高い金利水準の継続や、猛暑・大雨等の天候不順により、為替相場や物価の動向は依然不透明な状況が続いております。

ECサービスの属する市場環境としましては、公益社団法人全国出版協会 出版科学研究所が発刊している出版指標2025年 冬号によると、当第3四半期連結会計期間の2024年4月～2024年12月の書籍雑誌推定販売金額は710,746百万円で前年同期△4.8%となり、出版業界全体において売上高の減少が継続しております。電子コミック市場の前年同期比6.0%増とは対照的に、当社主力ECサービスが属する紙コミックス市場については、『呪術廻戦』『僕のヒーローアカデミア』など人気長編作品の最終巻発売が重なった2024年12月単月は2023年3月単月以来の前年同月比増となりましたが、2024年4月～2024年12月は前年同期間と比べ約4%減となり、減少が継続する結果となっております。

そのような環境の中で当第3四半期の主要KPIとしましては、ECサービスに訪れたユーザー数は720万人（前年同期間960万人）、購買率は1.26%（前年同期間0.81%）、購買単価は8,037円（前年同期間8,263円）となりました。購買率は1.2%台まで改善されましたが、メディアミックス作品の早期化傾向により全巻セット巻数は引き続き減少が続いており、購買単価は8,000円台が継続しております。

紙コミックス市場の概況やオンラインモール等への出店運営費及び固定販促費の圧迫に伴い、収益効率を優先した運営に移行し利益積上げを図っております。

イベントサービスとしましては、国内外での人流回復が進んでおり、特にインバウンドの面では日本政府観光局（JINTO）が発表している「訪日外客数（2024年12月推計値）」によると、当中間連結会計期間の訪日外客数は10月 3,312千人、11月 3,187千人、12月 3,489千人（11月、12月は暫定値）と、12月（暫定値）は単月として過去最高を記録する等、東アジアのみならず東南アジア、欧州豪・中東からの訪日数を増やし、引き続き旅行需要の高まりは継続しております。

そのような環境の中、第2四半期連結会計期間（2024年7月～2024年9月）に引き続き売上高150,000千円ライン達成を維持しております。店舗売上につきましては、渋谷店を中心に当社優位性を活かした実写ドラマ等の優良コンテンツとのポップアップ催事を継続して展開しております。また、イベントECにおきましては、四半期連結会計期間の売上高としては過去最高の80,000千円台に到達し、日本国内（東名阪）での自社運営店舗と連動した受注販売商品が売上を牽引しました。

新規事業としましては、2024年3月29日付で株式会社テイツー（以下「テイツー社」）との間で資本業務提携契約を締結し、今期より様々な提携を開始しております。

双方の顧客特性の違いを認識し、テイツー社の運営する「ふるいち」「古本市場」約30店舗に当社の主力商材である新刊コミックセットの店舗での直接販売を委託展開しており、実店舗における全巻セット販売を開始しております。また、テイツー社からは当社マンガ展 渋谷店舗にてホビー商材を中心とした商品仕入を行い、高まる施設のインバウンド需要に対し購買ニーズの高い商材を継続販売する新たな取り組みで売上実績を積み上げ始めております。

海外事業では、これまで日本国内で完結していたアニメグッズ販売・イベント開催を、成長余地の大きい海外市場で展開するため、海外現地企業との協業による販売網の拡張を進めております。現在では中国本土、香港、台湾を拠点とした現地企業との提携が進んでおり、より急速な事業拡大を目指しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,879,766千円（前年同期比0.8%減）、営業損失は182,468千円（前年同期は営業損失154,461千円）、経常損失は187,998千円（前年同期は経常損失158,021千円）、四半期純損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失は222,603千円（前年同期は四半期純損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失207,523千円）となりました。

注. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の業績の状況については記載していません。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態に関する概況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,867,537千円(前連結会計年度末比13,725千円増)となりました。総資産の内訳は、流動資産が1,597,611千円(前連結会計年度末比4,442千円増)、固定資産が269,926千円(前連結会計年度末比9,283千円増)であります。

流動資産の主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が59,949千円増加、売掛金が42,352千円増加したこと、一方で商品が64,983千円減少、前払費用が14,535千円減少したこと等によるものであります。

固定資産の主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、差入保証金が35,261千円増加したこと、一方で建物が21,742千円減少、工具器具備品が11,798千円が減少したこと等によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は873,521千円(前連結会計年度末比84,081千円減)となりました。負債の内訳は、流動負債が681,412千円(前連結会計年度末比10,560千円減)、固定負債は192,109千円(前連結会計年度末比73,520千円減)であります。

流動負債の主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、買掛金が29,259千円減少したこと、一方で未払法人税等が11,789千円増加したことによるものであります。

固定負債の主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、長期借入金が72,167千円減少したことによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は994,016千円(前連結会計年度末比97,806千円増)となりました。主な変動要因は、前連結会計年度末に比べ、第三者割当による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ160,200千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が222,603千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表いたしました2025年3月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年2月13日)公表いたしました「連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

当該業績予想につきましては、公表時点において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。今後、業績予想に変更があった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,607	666,557
売掛金	294,850	337,203
商品	589,299	524,315
その他	104,519	71,910
貸倒引当金	△2,107	△2,375
流動資産合計	1,593,168	1,597,611
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	48,571	26,829
その他（純額）	53,059	37,408
有形固定資産合計	101,630	64,238
無形固定資産		
その他	55,807	70,050
無形固定資産合計	55,807	70,050
投資その他の資産		
その他	103,204	135,637
投資その他の資産合計	103,204	135,637
固定資産合計	260,643	269,926
資産合計	1,853,812	1,867,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	285,047	255,787
1年内返済予定の長期借入金	156,423	148,280
未払金	154,391	154,894
契約負債	44,165	35,391
未払法人税等	210	11,999
その他	51,734	75,058
流動負債合計	691,972	681,412
固定負債		
長期借入金	259,683	187,516
資産除去債務	795	806
その他	5,151	3,786
固定負債合計	265,629	192,109
負債合計	957,602	873,521
純資産の部		
株主資本		
資本金	188,901	349,101
資本剰余金	522,792	682,992
利益剰余金	219,031	△3,571
自己株式	△40,577	△40,602
株主資本合計	890,148	987,919
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,814	3,850
その他の包括利益累計額合計	3,814	3,850
新株予約権	2,246	2,246
純資産合計	896,209	994,016
負債純資産合計	1,853,812	1,867,537

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	2,901,877	2,879,766
売上原価	1,851,786	1,824,242
売上総利益	1,050,090	1,055,523
販売費及び一般管理費	1,204,551	1,237,992
営業損失(△)	△154,461	△182,468
営業外収益		
受取利息	37	157
受取配当金	1	1
コイン失効益	2,390	1,866
受取手数料	325	2,231
その他	484	1,203
営業外収益合計	3,238	5,458
営業外費用		
支払利息	5,399	4,580
為替差損	944	1,089
株式報酬費用消滅損	—	5,102
その他	455	215
営業外費用合計	6,799	10,988
経常損失(△)	△158,021	△187,998
特別利益		
固定資産売却益	218	—
特別利益合計	218	—
特別損失		
固定資産除却損	3,101	—
事務所移転費用	5,766	—
減損損失	—	19,869
退店に伴う損失	—	9,279
特別損失合計	8,867	29,149
税金等調整前四半期純損失(△)	△166,670	△217,148
法人税、住民税及び事業税	1,878	5,455
法人税等調整額	38,973	—
法人税等合計	40,852	5,455
四半期純損失(△)	△207,523	△222,603
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△207,523	△222,603

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純損失(△)	△207,523	△222,603
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,473	35
その他の包括利益合計	2,473	35
四半期包括利益	△205,049	△222,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△205,049	△222,567

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月15日付で、株式会社テイツーから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が160百万円、資本準備金が160百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が349百万円、資本剰余金が682百万円となっております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、マンガ事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	23,572千円	28,847千円